



みなと

みなと 44号 2014年12月1日

兵庫県声の図書赤十字奉仕団

〒651-0073 神戸市中央区脇浜海岸通 1-4-5

日本赤十字社兵庫県支部内

(Tel)078-241-9889 (Fax)078-241-6990

代表者 大下 操

編集者 本川 勝子

第25回交流会



第25回交流会を終えて

好天に恵まれた11月23日、第25回交流会を盛況のうちに終えることができました。

今年のイベントは「垂水ハーモニカ友の会」の20名近い方々による懐かしい曲の演奏や色々な種類のハーモニカの紹介、みんなで一緒に歌うコーナーもあり、皆さんとても楽しんでおられるようでした。今回は最年少（6歳）の新しいリスナーさんもお母様と参加していただいたので、「鉄腕アトム」の曲も用意して下さっていました。

今年も各グループがそれぞれの役割を担当し、日下課長をはじめとする奉仕課の方々に多大な協力を頂きながら準備を進めて参りましたが、当日お迎えしたリスナーの皆さんの楽しんでくださっている様子に、肩の荷が降りる思いでした。

思えば、数年前から交流会実行委員長は各グループの輪番制となり、丁度一回りして我が「ともしびグループ」が今年の当番。そして、めぐり合わせのような形でお引き受けした実行委員長の大役でした。でも、25回目の交流会という事で、残されている実行委員会の記録や積み重ねた様々な経験をお持ちの頼りになる先輩方の存在がありましたので、大きな不安もなく取り組むことができました。

8月から11月まで月一回のペースで開く実行委員会、各グループの役割分担、イベントの決定、リスナーへのご案内、それぞれの進捗状況の確認などを重ねて準備を進め

ましたが、グループ代表の実行委員の方たちを通して団員一人一人が、交流会に向けて動いてくださっているのを実感することができました。私も、役目上対外的な気配りが必要な場面はありましたが、実行委員の一人として自分の役割を果たしている、それがたまたま実行委員長だった、という思いで準備作業をしていました。

でも、交流会終了後、皆さんに「お疲れ様」という言葉をかけていただいて、やはり実行委員長というのはそれぞれの仕事のまとめ役として大役だったのだなとあらためて感じ、能天気で抜けていることの多い私に、色々アドバイスをくださり、協力してくださったお一人お一人に今まで以上に感謝の気持ちでいっぱいになりました。

来年の交流会も今年の実行委員会の経験を踏まえて、「みんなで協力していく交流会」となることを信じております。本当にありがとうございました。

第25回交流会実行委員長 ともしびG 石田むつみ



* グループ奨励賞を受賞して



平成26年9月19日、声の図書赤十字奉仕団は公益財団法人鉄道弘済会と社会福祉法人日本盲人福祉委員会主催の「第44回朗読録音奉仕者感謝の集い」においてグループ奨励賞を受賞しました。これは毎年、東日本地区、西日本地区の各視覚障がい者支援機関より推薦された朗読録音奉仕者に対して贈られるものであり、今回の私たちの受賞は日本赤十字社兵庫県支部の推薦を受けました。

50年の長い歴史の中で、「視覚障がい者にとって重要な情報源として心の通う、聴きやすい録音図書を提供したい」という団員一人一人のおもいが積み重なった結果によるものです。これからも次世代への継承を課題にさらに進化発展を遂げていきたいと思います。

大下 操

デジ班



機材チーム

現在、奉仕団には音声図書製作用として9台のパソコンがあり、録音用、編集用として稼働しております。そして単行図書、音声雑誌のいずれの録音もパソコンへの直接録音が普通の手法となって参りました。

一次校正の修正、雑音除去等についても、録音した方がパソコンを操作して実施され、その聞き易さを一段と高めておられます。

これも、ひとえに団員の皆様の挑戦の賜物と敬服しております。

さて、昨年度、支部のご尽力により大ブースにも録音・編集用のパソコンが設置されたことはご承知のことと思います。

大ブースの編集システムは、これまでカセットデッキとMDデッキへの録音に限っておりましたが、これに追加して編集機の出力を何とかパソコンで録音する手段を検討しておりました。

先ごろ、編集機の音声信号をオーディオキャプチャーに接続して、パソコンに直接録音出来るようになりました。

これにより、大ブースの複数のマイクを使用して、複数の話者（座談会、インタビュー等）を対象とした録音シーンに対応出来ることとなります。既に、この方法で、対話シーン、インタビュー等を録音されたグループもあります。

現在、パソコン録音した音声を編集機を通して大型スピーカーでモニターすることは出来ませんので、ミニスピーカーをパソコンに接続して試聴してください。

大変便利になった録音・編集ですが、変わらず脅威であるのがウィルスの問題です。録音開始以降、編集が完了してマザーディスクが完成するまで、多くの場合録音データはUSBメモリーに格納され、持ち運ばれます。そして、何台かのパソコンに接続され、録音の継続、編集がなされますが、その内1台でもウィルスに感染していると、それ以降に接続したパソコン全てが汚染される可能性があるということです。

ボランティア室、録音ブースにあるパソコンのウィルス検出ソフトは定期的に更新していますが、あわせてパソコン録音をされる皆様をお願いしたいことは、録音データが格納されているUSBメモリーを接続する可能性があるご自宅のパソコンは、できればウィルス検出ソフトをインストールしていただき、常に最新の定義ファイルが反映されるようにしていただきたいと思います。

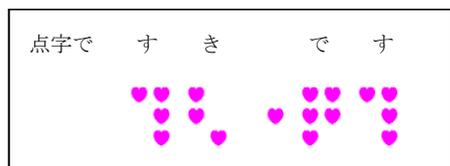
機材チームとして、今後とも皆様に使いやすい録音環境、編集環境を整えて行きたいと思っております。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

文責：機材チーム・冨沢ナオキ



点字班



私が点字班にいられてから2年になります。様々な活動をする中で、学校講習に参加させていただく機会があり、そこで真剣に点字を学ぶ子どもたちに出会いました。

講師の方の「目をつぶって点字をさわって下さい。読めますか?」とい問いかけに「わからない」「むずかしい」「え——っ」という、とまどった子どもたちの声が聞こえてきました。はじめは、ふざけながら話を聞くこどももいましたが、点筆を持ち、点字器に向かい、点字を書く作業が進むにつれ真剣な表情になり最後はもっと書きたいという意欲を残して講習は終わりました。

短い時間ですべてを習得することは無理なことです、柔軟な心を持つ早い時期に点字を知った子どもたちは、いろいろな公共の施設で点字を目にした時、学校で学んだことをきっと思い出してくれると思います。そして、視覚に障害があることの不自由さを知った子どもたちが、思いやりの心を持って行動できる人に成長していけるように願っています。

先輩方が積み重ねてこられたボランティア活動の中に加えていただいていることに感謝し、微力ながらも私にできることを見つけて精進していきたいと思います。

羽渕博子



朗読・音訳を見直す会



日頃リスナーの皆さんは、私たちの朗読・音訳を心地良く聞いて下さっているでしょうか？ 例えば単行図書に写真の頁が多くあった場合、どの程度説明を加えれば理解してもらえるのか、お二人のリスナーにお越し頂きご意見をうかがいました。

○写真の説明

- ・本文中の場面の写真は簡単な説明が良い。
- ・古いものは別として、あえて白黒の写真であった場合のみ「白黒の写真です。」と入れる。

○一般的な「読み」について（9月17日議事録より）

- ・作品と読み手のイメージが合っている方が内容に入っていくやすい。
- ・何と言っても、滑舌がはっきりしているのが良い。
(国の名前など、カタカナをはっきり読んでほしい。)
- ・漢字の説明は、本文を聴いていればわかるところは、最低限の説明が良い。
- ・本の題名など、冒頭でイメージが躓くといつまでも引っかかるので、想像しにくい漢字や言葉には説明をつけてほしい。(例「優駿」「雷桜」)
- ・躓いてガサツな読み方は引っかかる。(読みづまり・読みよどみなど、校正者は注意する。)
- ・小説などの読み方は、あまり感情を入れてほしくない。
- ・表やグラフ・図などの説明は、関連したものをまとめてもらう方が、わかりやすい。

どれを取っても、尤もなご意見ばかりだと思います。

常に、文意を出来るだけ忠実に声で伝える努力を重ねているわけですが、各個人のレベルアップに欠かせないことの一つは耳を養うことだと思います。

- ・プロや先輩でお手本にしたい人の読みをよく聞く。
- ・自分自身の読みを第三者の身になって聞く。
- ・自分の読みを校正する時、一度は原稿を離して目を閉じて聞いてみましょう。

筆者の言いたいことが表現出来ているでしょうか。

長いセンテンスが途中で意味が切れていないでしょうか。

句読点の後の間は適切でしょうか。

等々、微妙な違いに気付けるよう耳を養いましょう。

朗読・音訳は簡単に正解を見つけることの出来ない奥深さがありますが、その奥深さ故に魅力も尽きません。

来年2月からの朗読講座に奮ってご参加頂き、ご一緒に朗読・音訳の魅力を追求めましょう。

(田辺記)



「朗読・音訳を見直す会だより 10号」

朗読・音訳を見直す会では、朗読・音訳について必要だと考えられる事項を発信しています。今回は、「外来語」についてです。

<Q & A>

Q : 「外来語」のアクセントにはどのような特徴がありますか？
また、最近の傾向は？

A : 外来語、カタカナ語のアクセントには一つの傾向があり、多くの語が当はまるので、比較的覚えやすいのが特徴です。

1. 2拍の短い語は頭を高く発音する
(例) ガス、ペン、メモ、パン、ピン、ハム、パパ、ママ、バス
2. 3拍の語も頭を高く発音する
(例) クラス、テレビ、ラジオ、リボン、バター、マッチ、ルビー、ダンス、テニス、ハート、ケース、スーツ、ファイル、コース、
3. 4拍以上の語は、語尾から三つ目を高く発音する
(例) スカート、ブラウス、デザイン、グループ、ストーブ、スケッチ
ピアニスト、メロドラマ、ストライキ、ツベルクリン、
ガソリンスタンド、ヒューマニズム
4. 古くからの外来語は、平板に発音する
(例) ガラス、ボタン、コップ、アイロン、テーブル、カステラ、
オムレツ、ピフテキ、カツレツ、アルコール
5. 最近の特徴として「外来語アクセントの平板化」が若い人やコンピュータ関係の人、音楽関係の人に多く見られる
(例) ドラム、トースト、スニーカー、スクーター、オープニング、
グラフ、ハート、データ、ディスク、ギター、サクソ
6. 古い外来語で、なじみ深いものは鼻音化の傾向にある
(例) オルガ^ン、イキ^{リス}、カタログ^ク、アレク^ロ、タンコ^コ
7. 「原アクセント」を取り入れている語もある
(例) アクセント、モニター、アンケート、アクセサリー、レストラン

参考資料「NHK 新版日本語発音アクセント辞典」、「美しい日本語の発音」
三木京子



単行図書検討会



今年度4月～10月に13枚の単行CDが完成し、現在15作品を製作中です。団員の皆さんには、お忙しい中、録音、校正、編集にご尽力、ご協力くださいませ大変有難うございます。

今回は、単行図書録音に関して三点お伝えしたいと思います。

まず一つ目は、雑音に関してです。直接録音になって、雑音に悩まされている方は多いと思います。自校正するときは、ヘッドフォンで聴いて雑音に注意を払い、読み直すか、サウンドエンジンフリーやフレーズのカットで、除去してください。

二つ目は、校正についてです。本奉仕団の録音は、全国視覚障害者情報提供施設協会発行の「音訳マニュアル 視覚障害者用録音図書製作のために」（以下「音訳マニュアル」と表記）に準拠してまとめた「兵庫県声の図書赤十字奉仕団 録音図書製作マニュアル」（以下「声奉マニュアル」と表記）に拠っています。

校正について分からない点は、「声奉マニュアル」のP6、「音訳マニュアル」のP109～P116、P136～139を読んでください。とくにP136～139の「録音図書校正基準」を読んで、分からない点は、単行図書検討会にお聞きください。*「音訳マニュアル」は、ボランティアルームの蔵書のロッカーにあります。

なお、電話番号の読み方は、「声奉マニュアル」の添付資料中の「デイジー単行図書枠アナウンス用紙」に書いていますが、数字の間に「の」は入れません。統一したいと思いますので、宜しくお願いいたします。

三つ目は、調査についてです。「声奉マニュアル」P1に書いていますが、日本盲人社会福祉施設協議会では「作家や出版社への問い合わせ原則として控えること」を申し合わせています。安易に問い合わせをしないようにしてください。調べる方法は、辞書やインターネットだけでなく、教科書、参考書、読み物などにもルビが多く、観光案内、美術館の案内なども柔軟に利用するようにしてください。

単行図書検討会は当初、単行図書の作業を担当していた「ことばの花束」2名、「こすもす」2名と、本部の会計の5名で出発しましたが、現在は、歴代の会計や、単行図書に関心のある他のグループのメンバーが加わって9名に増え、より活発な話し合いが出来るようになり嬉しく思っています。

最後に、いつも書いていますが、リスナーから単行図書の貸し出し希望や、録音希望の電話があった時は、電話機の横にある『単行図書「貸し出し」「録音」希望』に記入のうえ、貸し出し希望の場合は「ことばの花束G」の、録音希望の場合は「単行図書検討会」のレターボックスに入れてください。今年度から、電話受付の用紙が変更されましたが、単行図書に関しては、従来の受付用紙を用品です。どうぞ宜しくお願いいたします。

単行図書に関するご要望やご意見があれば、どしどしお寄せください。お待ちしております。

池内早苗

リスナーお便り



声のアルバムに寄せて

香山良樹さん 5月24日
楽しく聴かせて頂きありがとうございます
ございました。

わかばちゃんの結婚の時の娘さん
が幼かった頃の思い出のエッセイ
よかったです。

今、結婚してゆく娘さんの幼かっ
た頃の電車ごっこの思い出。娘さ
んがいとしくてたまらない様子が
よくわかりました。

平本信義さん 6月30日

うっとうしい毎日が続いていますが、日赤声の図
書のご奉仕の皆様いかがお過ごしですか。

私は野菜が好きではございません。それをよく知
っている息子の嫁が三田市から野菜と果物をミッ
クスした100g入りのジュースと香川県は小豆
島の“ヒカリ”というそうめんをどっさり、父の
日ということで送ってまいりました。今年の夏は、
ゆっくり楽しく嫁の心を胸に健康で過ごせると喜
んでいます。その中に点字の便りが入ってしまし
た。私、電話し、点字の便りもしました。皆さ
んも点字のお便り下されば嬉しいです。それでは、

花時計によせて

松本民雄さん 7月26日

暑中お見舞い申し上げます。

今、NHK・ラジオ第1放送では、巡回ラジオ体操を放送し
ています。

私が、京都府立盲学校高等部専攻科1年生の時には、卓球
部に席を置いていました。その時、朝のSIX-O'CLOCKに
は起床して、卓球部の顧問の先生のTRANSISTOR-RADIOに合
わせて、皆でラジオ体操をしてから、校内の廊下を、40
周か50周走ってから、朝食を食べたものです。

(以下途中省略します)。

これも、今となつては、懐かしい思い出です。ところで、
話は変わりますが、手塚治虫記念館は、私たち、視覚障害
者が行っても、触ったり出来るのですか？又、音声で聞け
る物もあるのですか？その辺りのことが詳しく分かりませ
んの、電話で教えていただけませんか？ 8/7電話で答えた

花時計10月号に寄せて

吉田徳子さん

10月29日

今日は、花時計10月号、興
味深く、楽しく聞かせて頂き
ました。特に楽器のお話を分
かりやすく、あんなに弾いて
みたいな～と思いました。

テープ作り、大変でしょうけ
ど、あんな楽しいテープを又
作って下さいね。

これからも、ずっーと聞かせ
て頂きますのでよろしく。

声のアルバム・やまなみ・雪に寄せて

香山良樹さん 8月25日

声のアルバム、この度も私の知らない事、教えていただきありがとうございます。

やまなみで、イスラエルのことを聞かせて頂きました。1日の始まりは夕方から、次の日の
夕方までとなっています。今と時間感覚が違います。聖書は夕あり、朝ありと書いています。
大砂嵐は相撲期間中に断食があると体の調整ほうに苦労しますね。

雪、ありがとうございます。コンセント気を付けたいです。これからも日常でこんな話はど
うですか、と言った情報おねがいします。8月になって急に天候不順になりました。

日赤の皆様、健康守られますように。

花時計プログラム



花時計 6月号 あかりの会

A面

1. 健康講座 「献血について」
2. 朗読「日本とトルコを結ぶ絆」
トルコ軍艦エルトゥールルが
遭難したときのエピソード
3. 「祝婚歌」

B面

4. 兵庫の伝説より
「大工源兵衛の身投げ」
姫路城築城にまつわる話
5. 現代学生百人一首「東洋大学」発行
2014 年度版より 1 2 首をご紹介します
6. こころ歳時記より
「美しい日本の言の葉」
7. 新刊図書のご案内
永 六輔 「男のおばあさん」
8. お知らせ

花時計 7月号 ともしびグループ

A面

1. インタビュー
口笛奏者 竹中雄大さん
にお話をうかがいます。

B面

2. まど みちおの詩
3. 朝日新聞記事より
日野原重明
「102歳私の証あるがまま行く」
若き俳人とのかけ合い
4. 阿川佐和子著
「残るは食欲」より
とりあえずビール
5. 新刊図書紹介

花時計 8月号 ことばの花束

A面

1. 富岡製糸場の工女の生活
2. お金を貯めて殖やすためには
3. おかんメール

B面

4. マンガの神様
「手塚治虫記念館」を訪ねて
5. 夏の食卓の定番 「そうめん」
6. 知覧からの手紙
7. デイジー図書単行本のご案内
8. おたよりコーナー

花時計 9月号 はあもにい

A面

1. 音声パソコンってなんだろう
2. 「陳舜臣アジア文芸館」の紹介と
エッセイの朗読
3. 交流会のお知らせ

B面

4. 私のイギリス滞在記
～普段着のロンドン～
5. 近大マグロ物語
6. 新しいデイジー図書のご案内
7. お便り

花時計 10月号 神戸YWCA

A面

1. マンドリンのお話と演奏
2. 交流会の案内

B面

3. 虫に学ぼう
4. つばめの話
5. 語るパティスリー
ビクトリアサンドイッチケーキ
6. 浜村淳のイントロに愛をこめて
森繁久弥 知床旅情
7. 新刊図書案内
8. お便りコーナー

花時計 11月号 こすもす

A面

1. この人を知りたい
ウィリアム・メレル・ヴォーリズ夫妻
2. お酒のエッセイ 「三歳の初体験」
「弟の結婚」
3. 「野の花だより」より 「青葛籠藤」

B面

4. 短編 星新一作「利口なオウム」
5. 暮らしの手帳
素敵なあなたにより
「スポットライトの犯人」
6. 河合和子の旅だより
「南イタリアのシチリア島を訪ねて」
7. 新しい単行図書のご案内

